

有害プランクトン情報 (平成27年度 - No. 1)

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトンの調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えることがありますので、毎月1回「有害プランクトン情報」を発行して出現状況をお知らせします。

今年度からは、月2回行っている調査結果をとりまとめ、「有害プランクトン情報」として毎月1回(第3週の調査後)漁業関係者に提供します。また、センターHP上に公開いたしますので、どうぞご利用願います。

【プランクトンの出現状況】

- 調査日 4月 第1回 : 内湾 (8地点) 4/6 内房 (7地点) 4/6
 4月 第2回 : 内湾 (8地点) 4/21 内房 (7地点) 4/22
- シャットネラ属及びシュードシャットネラ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- ヘテロシグマ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- ※ シャットネラ属プランクトンは1細胞/1ml, ヘテロシグマ属プランクトンは1000細胞/1mlの密度を超えた場合に注意報を発行します。

○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

4/6 内湾 ケイ藻 *Dactyliosolen fragilissim* (図1)

(ダクチリオソレン フラギリッシスム)

内房 ケイ藻 *Leptocylindrus danicus* (図2)

(レプトキリンドルス ダニクス)

4/21-22 内湾 渦鞭毛藻 *Ceratium fusus* (図3)

(ケラチウム フスス)

内房 ケイ藻 *Leptocylindrus danicus* (図2)

(レプトキリンドルス ダニクス)



図 1

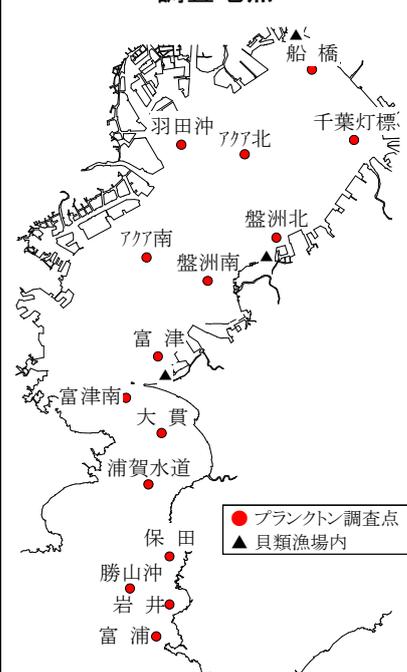


図 2



図 3

調査地点



【貝毒プランクトンの状況】

- 調査日 沖合 : 内湾 (8地点) 4/6
 貝類漁場内: 船橋 4/22 牛込 4/20 富津 4/20
- 麻痺性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- 下痢性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。

連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒 293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp